

Beauli アルミインテリア建材 L型コーナー 引戸 組立取付説明書

説明書番号 MI-1417改1

(1)

販売店様・加工店様へのお願

お願い

- ◆上吊りタイプは障子重量により垂れ壁の天井が下がってこないようしっかりと補強して下さい。(障子重量は1枚あたり10~30kg程度あります。)
- ◆本商品は一般住宅・室内用ですので用途以外のご使用は避けて下さい。
- ◆取付・建込後は必ず建付調整を行って下さい。
調整不良は作動不良や異音の発生原因となります。
- ◆商品の保管は直射日光のあたる場所や常に湿気がある場所を避けて下さい。

絵表示	意味
お願い	「必ず行なっていたく事」を示しています。

梱包形態

お願い

組立の前に部品の数や種類の確認をしてください。(ビスの本数は多めに入っているものもあります。)

上吊りタイプ

姿図		突付				通し		
		引き違い戸	2枚引き込み戸	3枚引き違い戸	3枚引き込み戸	2枚引き込み戸	3枚引き違い戸	3枚引き込み戸
		SE-1781-01	SE-1781-02	SE-1781-03	SE-1781-04	SE-1781-05	SE-1781-06	SE-1781-07
	上レール	1	1	1	1	1	1	1
	上レールアタッチ	2	2	2	2	2	2	2
	縦枠	1	1	1	1	1	1	1
	穴フサギシール (丸)	16	16	16	16	16	16	16
	ガイドピン	2	1	2	1	1	2	1
	ガイドピン取付ビス	4	2	4	2	2	4	2
	上レール・縦枠取付ビス	22	28	28	30	28	28	30
	引戸専用ストッパー	4	4	6	6	4	6	6
	上戸車	4	4	6	6	4	6	6
	床付マグネット受け	1	2	2	3	2	2	3
	床付マグネット受け取付ビス	2	4	4	6	4	4	6
	ストッパー金具	0	2	3	4	3	4	5
	ストッパー金具取付ビス	0	4	6	8	6	8	10
	コーナー化粧材	0	0	0	0	1	1	1

取付開口部の寸法出し

取付開口部の寸法は下記の通り行ってください

- 取付部W1・W2寸法=枠W1+8以上・枠W2+8以上として下さい。
1,W1,W2各方向面の対応はそれぞれ±2mmまで建具取付面で調整可能です。
- 取付部H寸法=枠H+3mmとして下さい。
H方向対応は±2mmまで対応可能です

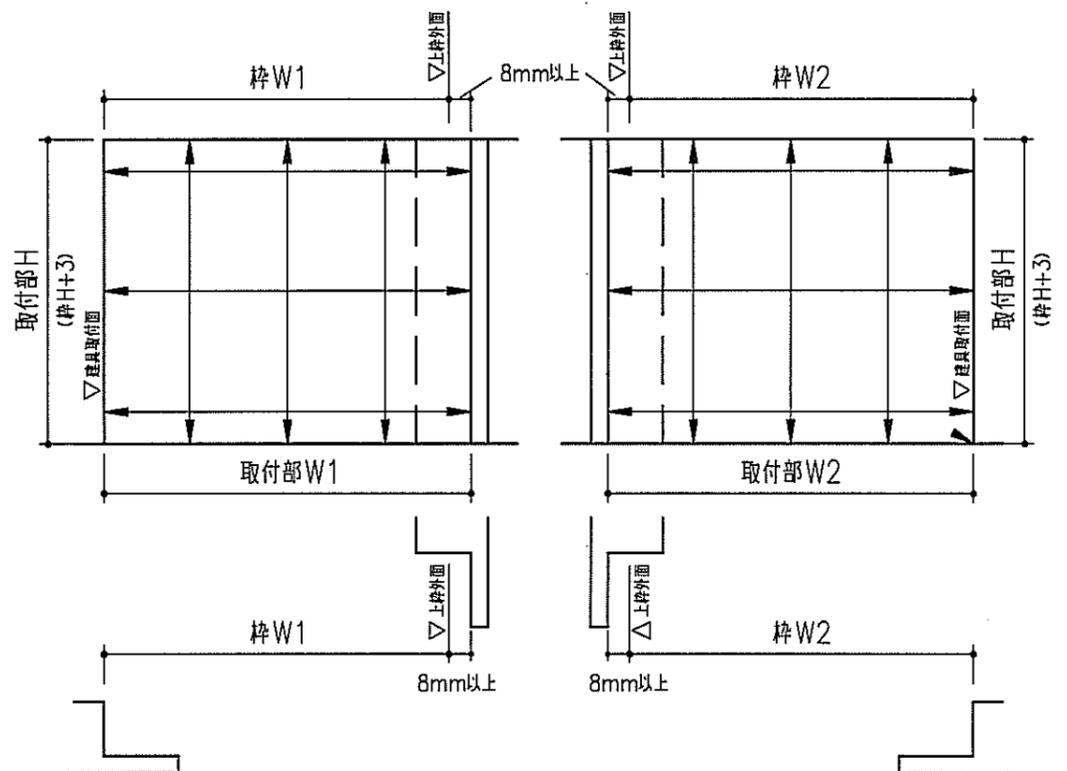
お願い 図のように採寸を行い、寸法を確認して下さい。
施工が不十分な場合、床を擦ったり、隙間が出る原因となります。

取付部W、取付部Hの精度が出ていても、

下記の位置には隙間が出ることがあります。

- A-縦枠と上枠
- B-縦枠の上端と躯体の周 標準状態で A 2.5mm・B 3mm となります。

これは取付部WHの許容差対応を行うため、あらかじめ隙間を設定しているためです。



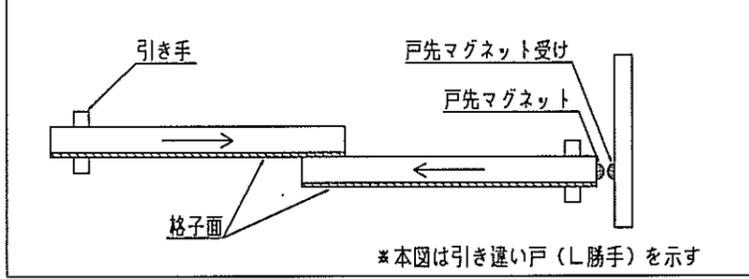
お願い

取付用の下地材を必ず入れてください。
上吊りタイプは障子重量により垂れ壁の天井が下がってこないようしっかりと補強して下さい。
(障子重量は1枚あたり10~30kg程度あります。)

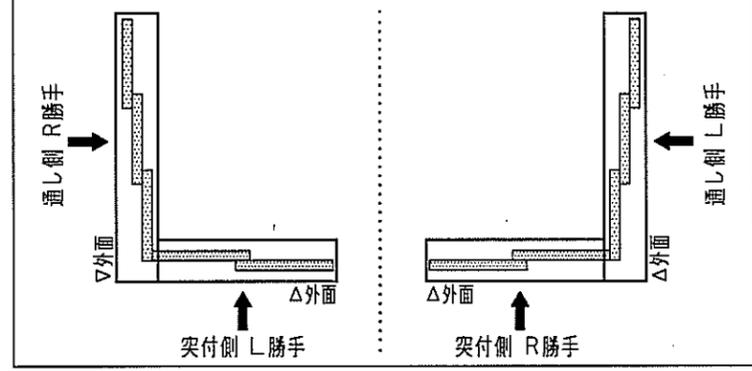
機種別障子構成表

- ◆下記の表にて機種別の障子建込み配置位置をご確認下さい。又、枠の勝手向きを同様にご確認下さい。
- ◆○内の数字は参考建込み順番を示しています。

●表記例（下記の表の詳細図）



●L型コーナー 引戸（勝手違いの見方）



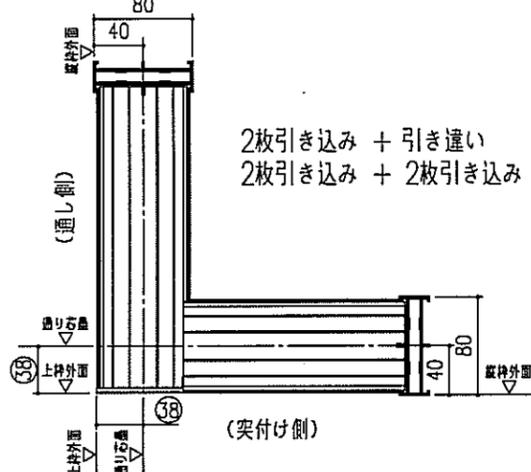
	姿図	障子配置位置	
		パネル・中棧タイプ	格子タイプ <small>//////...は格子面を示す</small>
突付側 引き違い戸			
突付側 2枚引込み戸			
突付側 3枚引違い戸			
突付側 3枚引込み戸			

	姿図	障子配置位置	
		パネル・中棧タイプ	格子タイプ <small>//////...は格子面を示す</small>
通り側 3枚引違い戸			
通り側 2枚引込み戸			
通り側 3枚引込み戸			

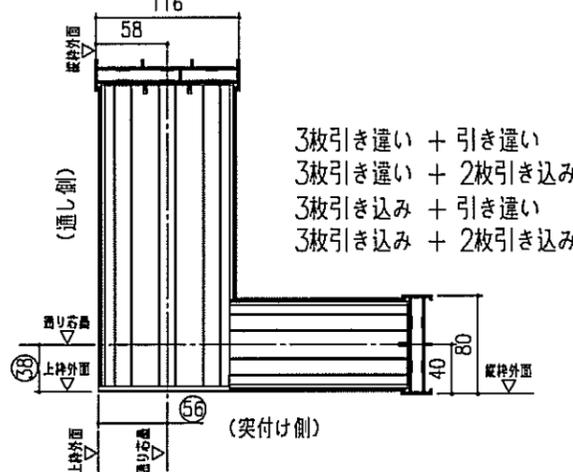
取付位置の寸法出し

下記の寸法を参考に通り芯の墨出しを行って下さい。

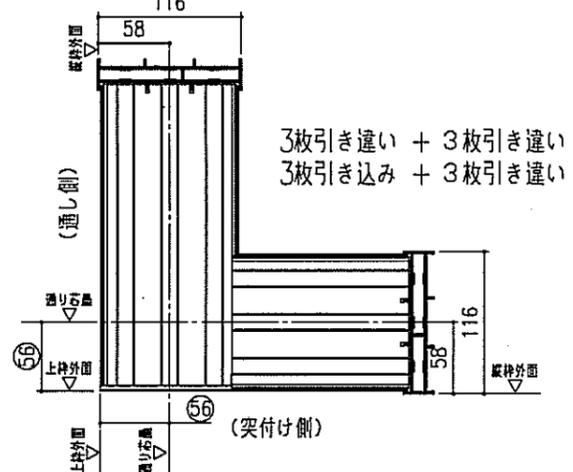
●（通り側2本レール+突付け側2本レール）の場合



●（通り側3本レール+突付け側2本レール）の場合



●（通り側3本レール+突付け側3本レール）の場合



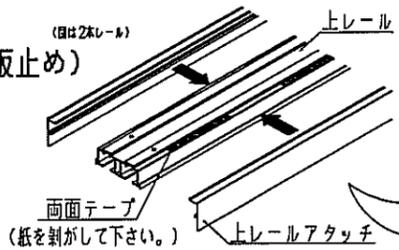
■ 枠の取付

① 上レールの部品の取付

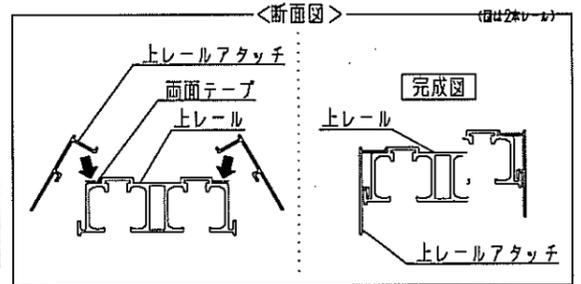
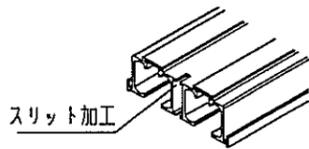
1-1 上レールアタッチの取付 (仮止め)

上レールに付いている両面テープで上レールアタッチを仮止めて下さい。

突付側の外部側の上レールアタッチは上レールから突き出た格好となります。

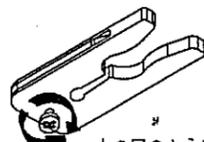
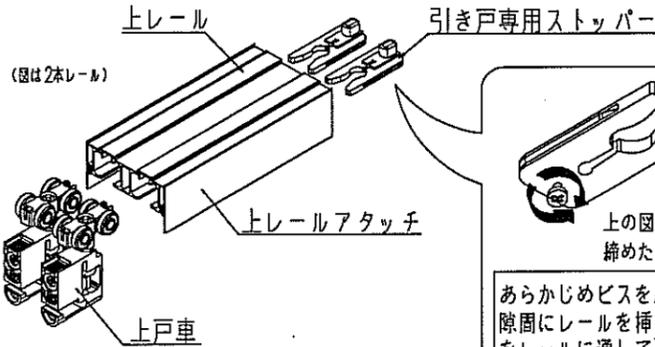


下の図のように、上レールにスリットが入っている方が縦枠側となりますので、上レールアタッチを止める時は縦枠側に端部を合わせて仮止めして下さい。上レールアタッチの外部側が長い方になります。



1-2 上戸車・引戸専用ストッパーの取付

上レールに上戸車と、引戸専用ストッパーを下記の図を参考に取付けて下さい。又、上枠を取り付ける際に落ちてこないように、引戸専用ストッパーを仮止めて下さい。



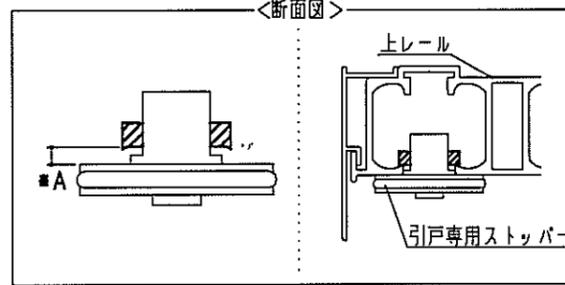
上の図のように裏側のネジを回すことで、締めたり、緩めたりできます。

あらかじめビスを緩めた状態で、右図の※Aの隙間にレールを挿し込む様に引戸専用ストッパーをレールに通して下さい。

お願い

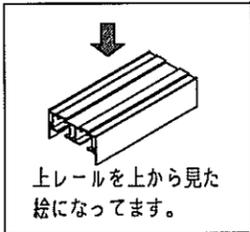
上戸車と引戸専用ストッパーの取付を忘れると本体の建て込みが出来ませんので、必ず取付けて下さい。

● 引戸専用ストッパーの取付方

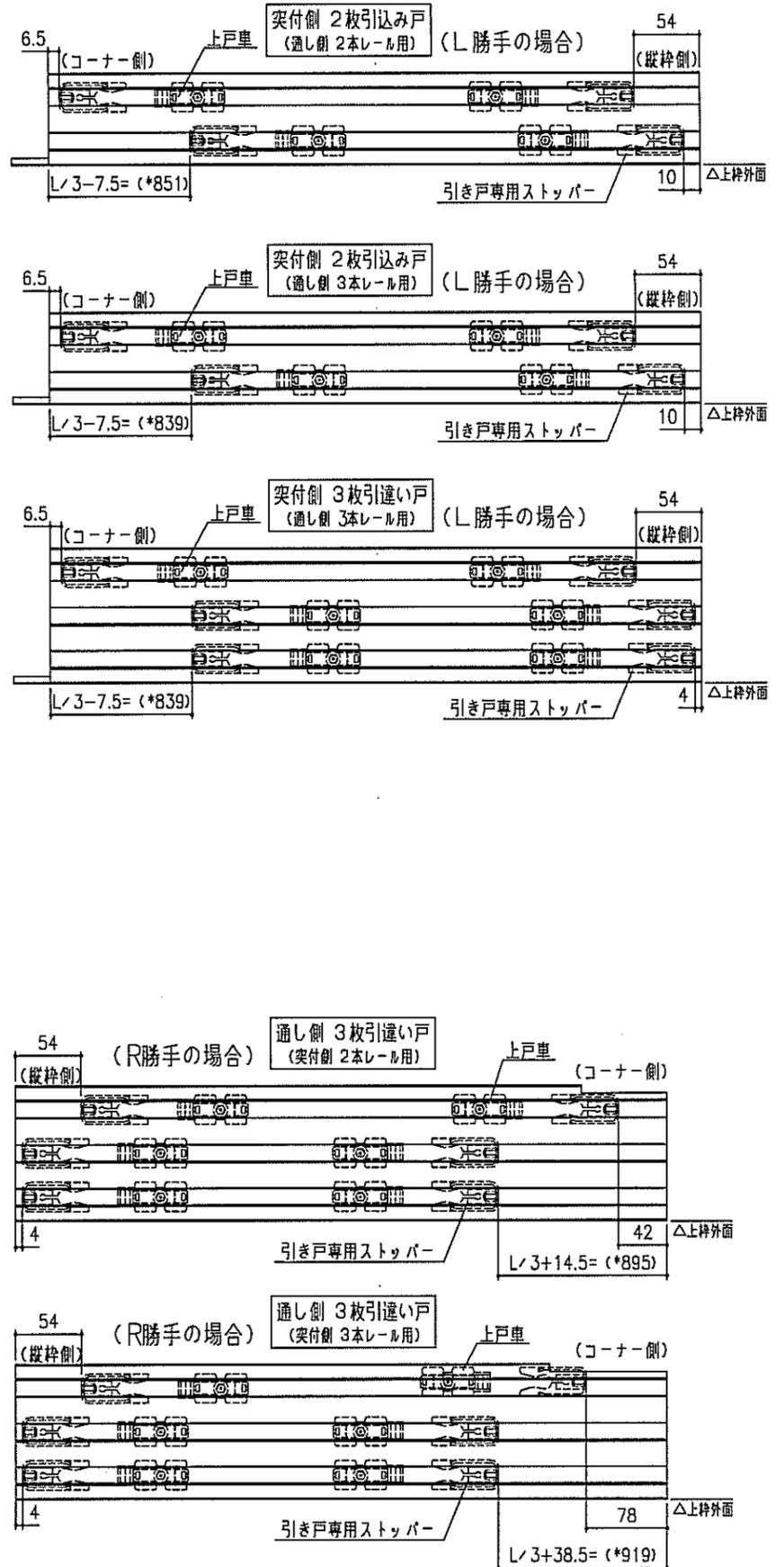
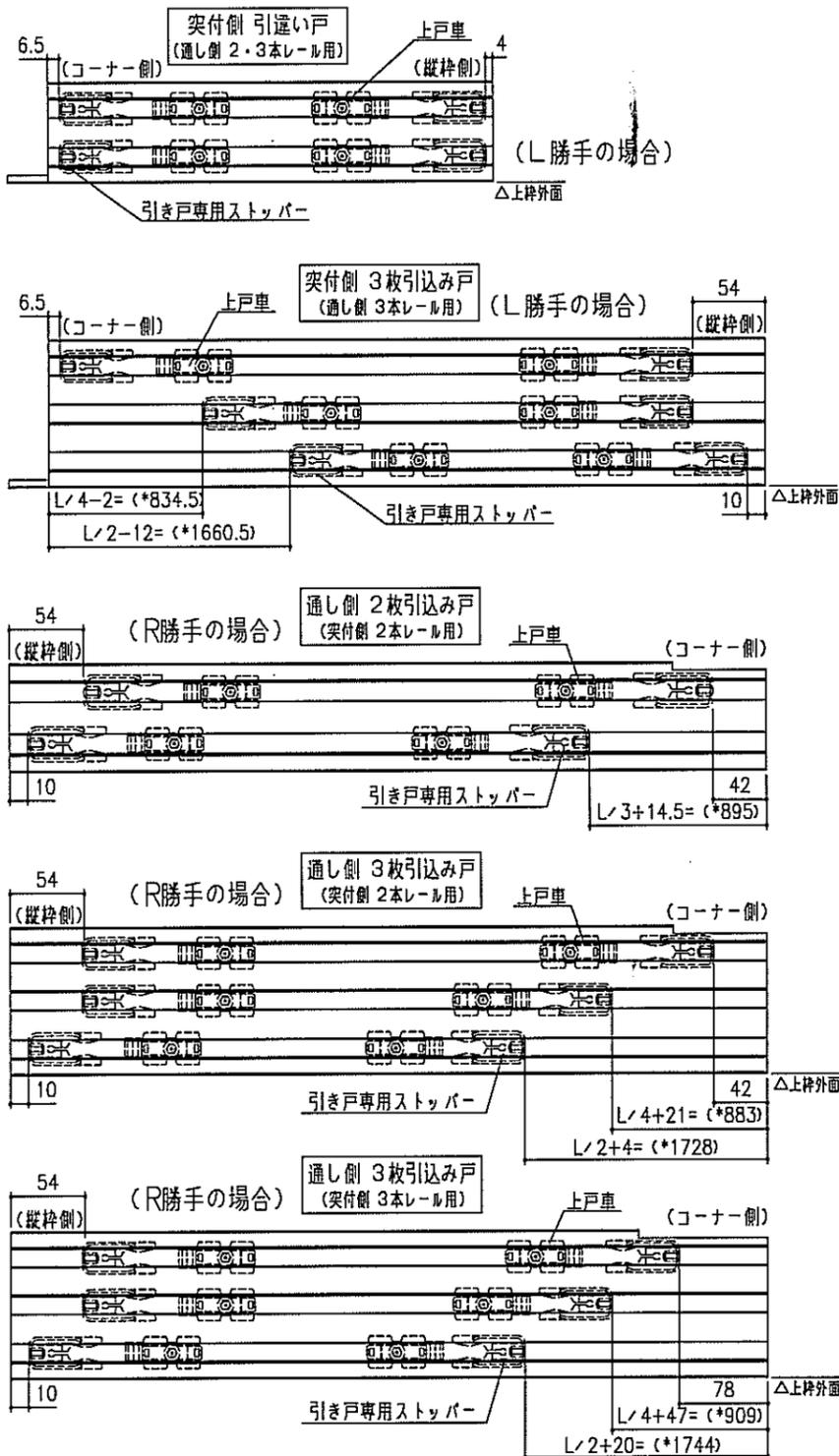


< 上戸車と引戸専用ストッパーの位置 > (上から見た状態)

(*)の寸法は規格品での寸法となります。



上レールを上から見た絵になっています。

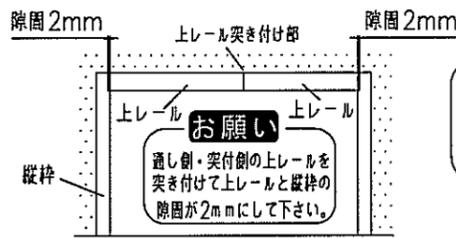


2 縦枠・上レールの取付

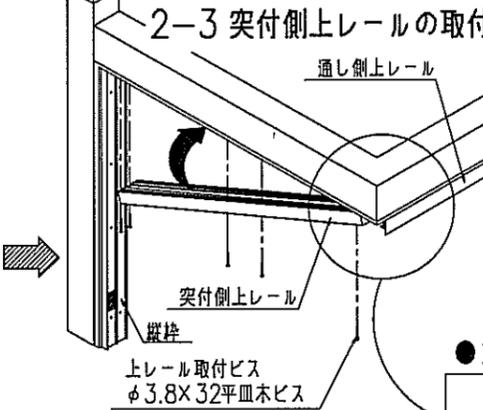
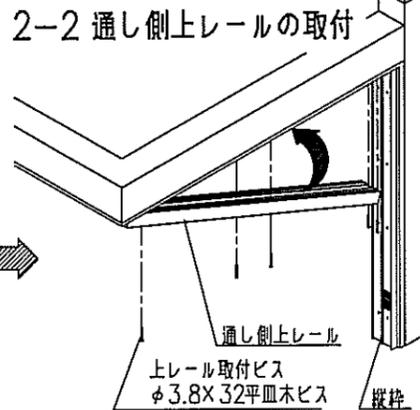
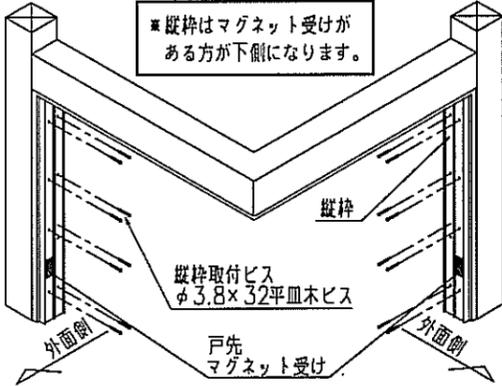
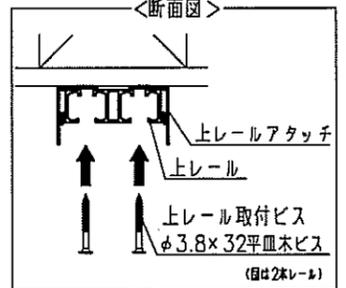
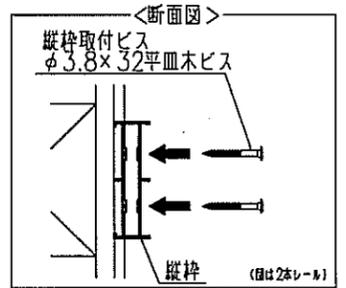
貼り付けタイプの枠なので組立を行いません。
 順番は、通し側縦枠 → 突付側縦枠 → 通し側上レール
 → 突付側上レールの順に取付けて下さい。

2-1 通し側・突付側の縦枠の取付

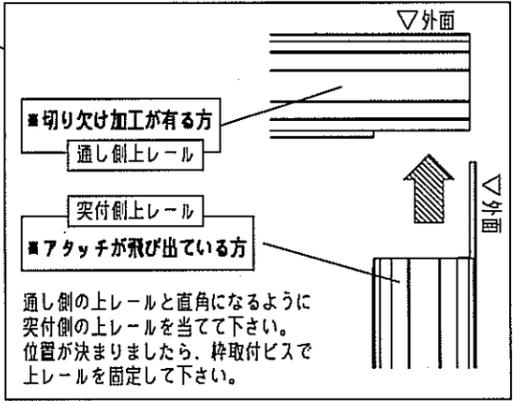
引き違い枠、3枚引き違い枠の場合のみ縦枠下端に戸先マグネット受けが付きまます。
 縦枠の外面側寄りに戸先マグネットが付くように縦枠を取り付けて下さい。
 (2枚引き込み枠・3枚引き込み枠には戸先マグネットは付きましませんので、縦枠に方向性はありましません。)



お願い
 ビスの締め付けはクラッチ付きのドライバーを使用して下さい
 (締め付けトルク3N・m以下)

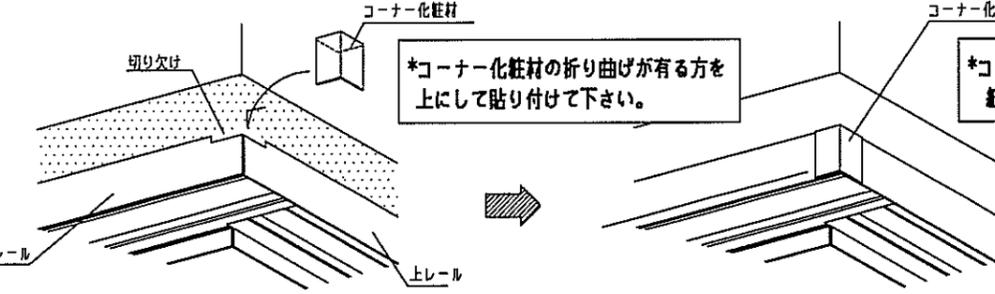


●コーナー部の取付



3 コーナー化粧材の取付

縦枠・上レールの取り付けが完了しましたら、コーナー部の上レールに切り欠けがある所にコーナー化粧材を貼り付けて下さい。



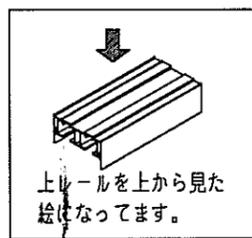
■ ストッパーの取付

1 ストッパー金物の取付

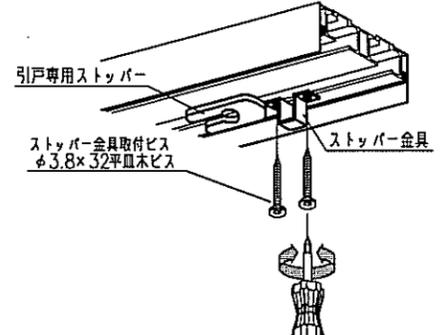
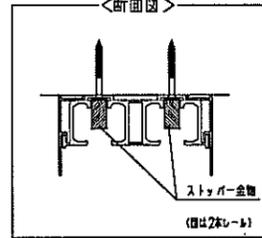
縦枠、上枠を躯体に取り付けた後、上枠の溝に有るビス孔に合わせてストッパー金物を取り付けて下さい。

(※仮止めしてある引戸専用ストッパーは、一度ずらしストッパー金物を取付けた後にストッパー金物におし当てる様にしっかり固定して下さい。)

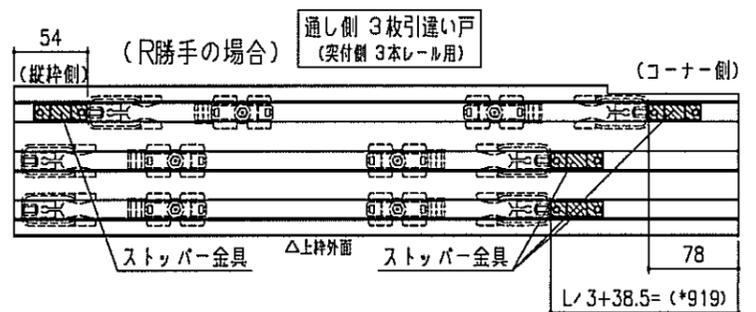
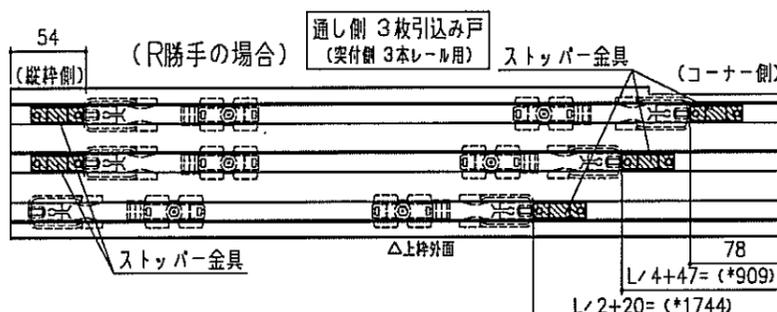
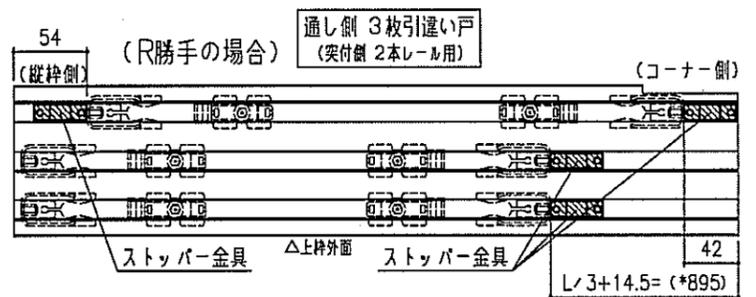
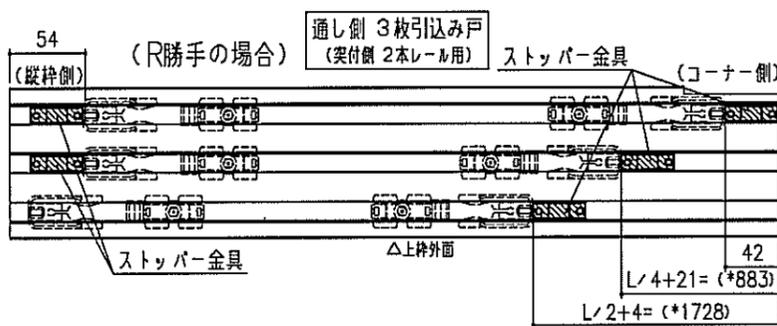
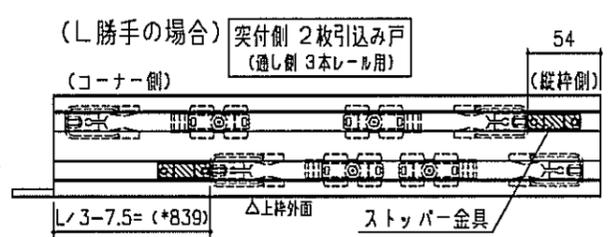
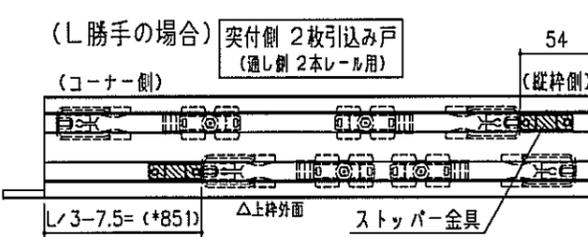
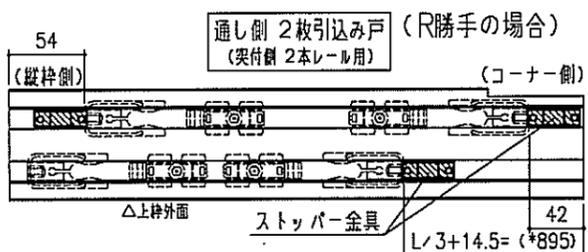
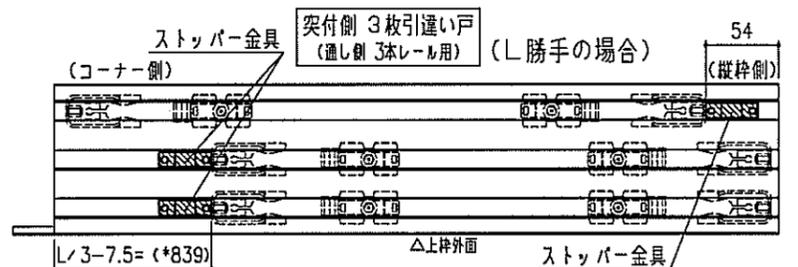
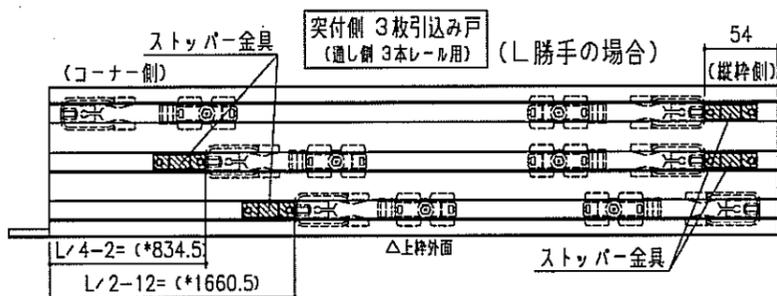
お願い 必ず上戸車と専用ストッパーの取付が終わり、上枠を開口部に取り付けた後にストッパー金物を取り付けて下さい。



(*) の寸法は規格品の寸法となります。



<ストッパー金物の位置> (上から見た状態)

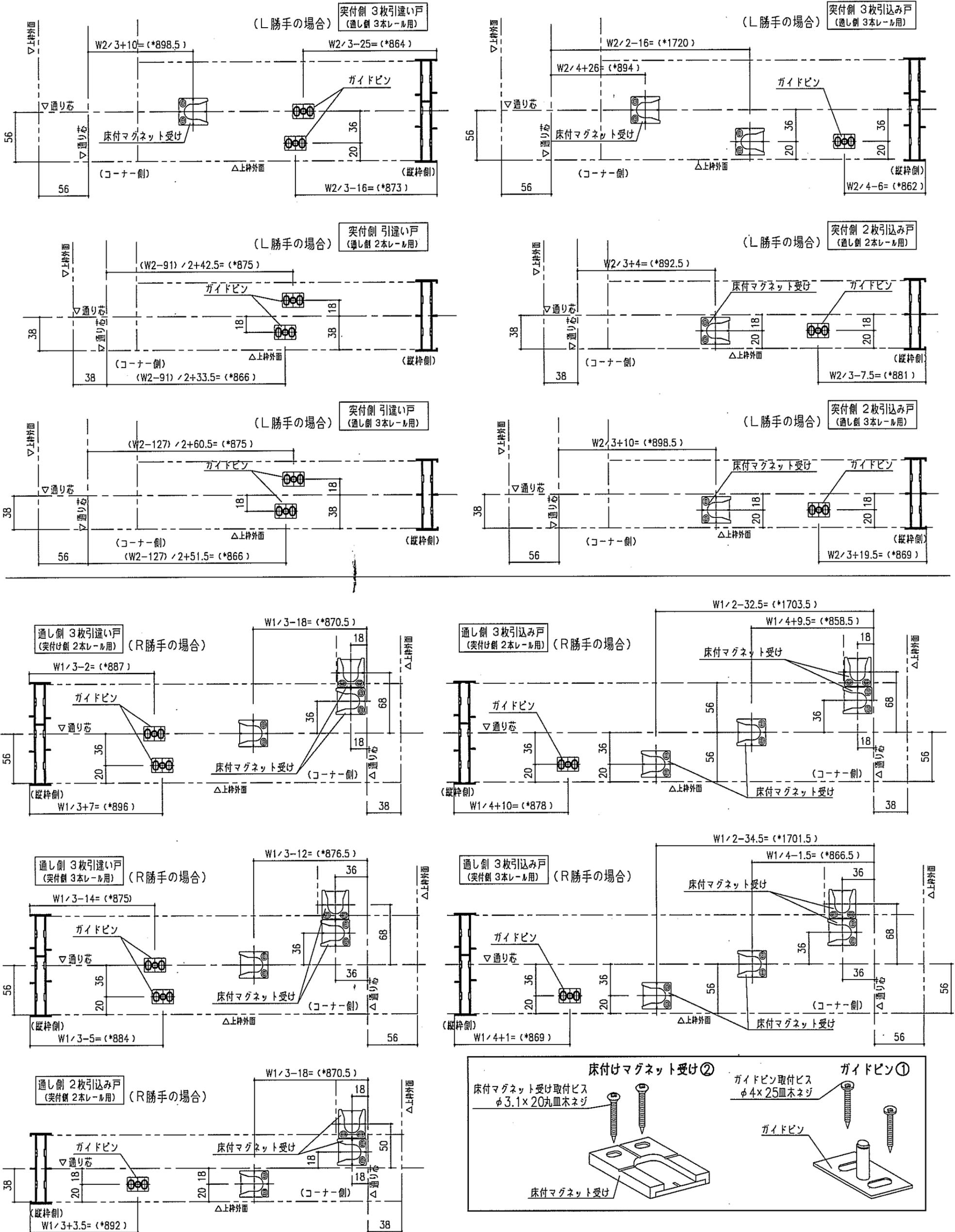


② ガイドピンと床付マグネット受けの取付

ガイドピン・床付マグネット受けを取付位置にセットし、付属のビスで取り付けて下さい。* ①と②参照

(*)の寸法は規格品での寸法となります。

<ガイドピンと床付マグネット受けの取付位置>

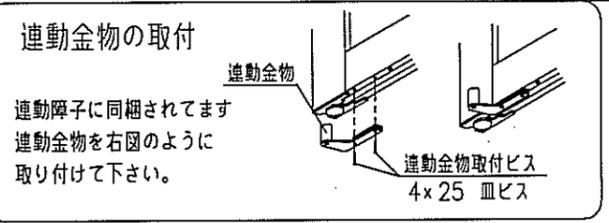
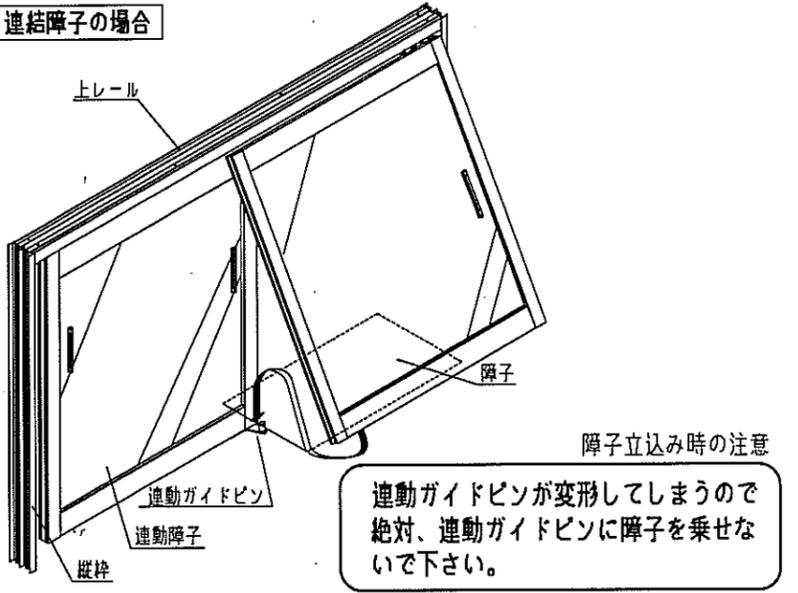
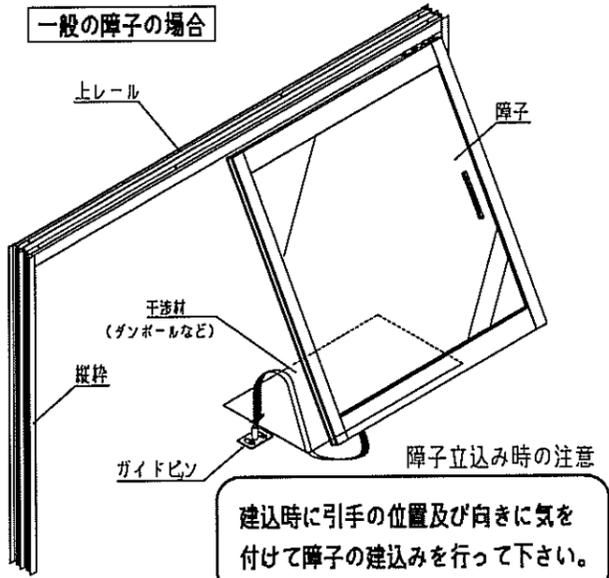
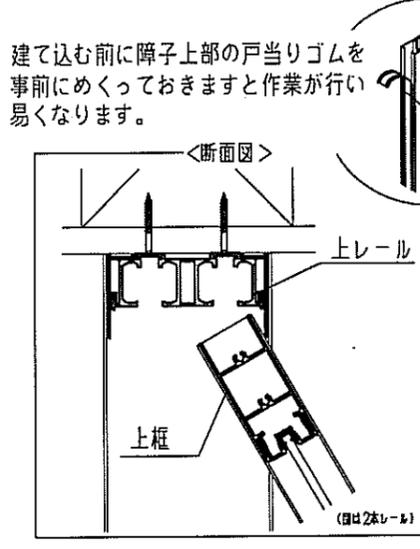


障子の建込

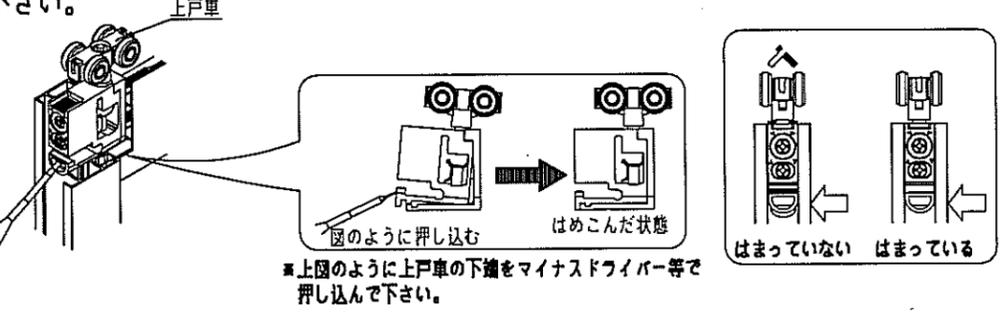
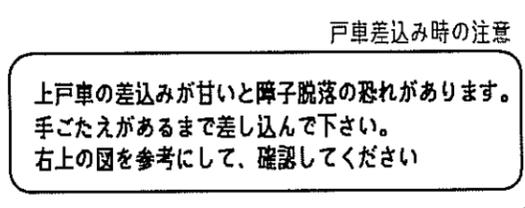
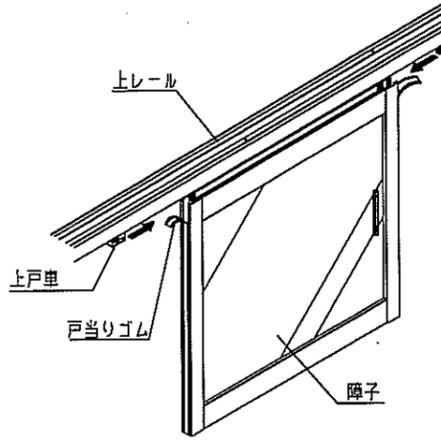
上レールを呑み込ませるように上框を最初のみ込ませて下さい。
障子の配置は機種別障子構成表を参照願います。
(*障子を閉める方向に引手があるようにして下さい。)

1 上吊りタイプの建込

- ① 障子を持ち上げて上レールにのみ込ませた後、障子持ち上げたまま下框の溝にガイピン又は、連動ガイドピンを入れて障子を建て込んで下さい。
建て込み時、床が傷つくのを防止するために障子の下に干渉材を敷く事をお勧めします。



- ② 戸当りゴムをめくり上戸車を障子に差し込んで下さい。
上戸車を差し込んだら戸当りゴムを戻して下さい。



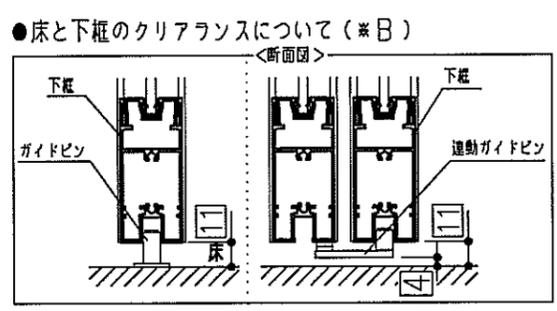
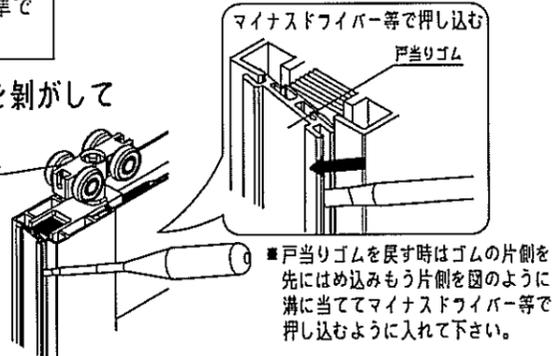
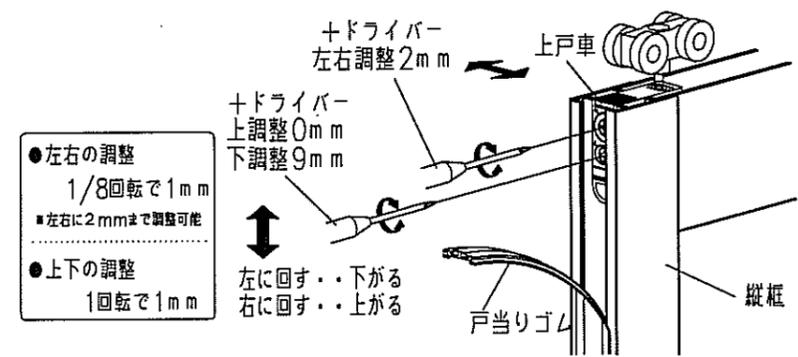
調整

* 調整時には絶対、電気ドライバーは使わないで下さい。

1 上戸車の調整

障子の調整はコーナー部の突き合わせ部を基準で合わせて行きますと調整が容易に行えます。

- 1, 障子本体を取付け後、上下のチリが合っていない場合は戸当りゴムを剥がして図のように上戸車の調整ねじを回して上下のチリを調整して下さい。
- 2, 上下のチリを調整後、戸当りゴムを元に戻して下さい。

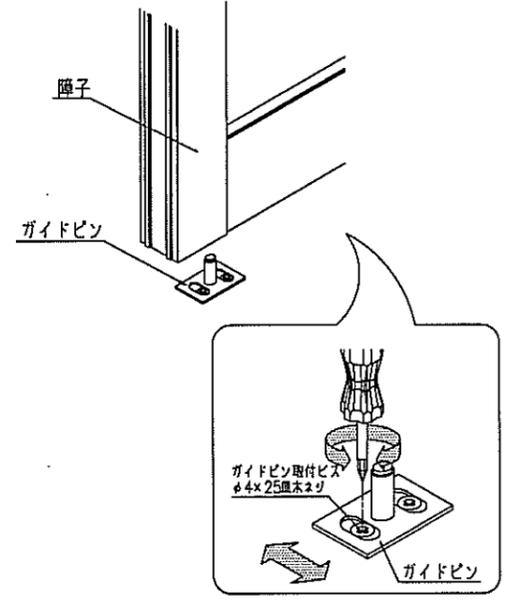


上吊車の設定を障子を一番上げた状態で設定しています。
障子の高さ調整時の目安として右図(*B)のように床と下框のクリアランスを11mmになる様に必ず障子の高さ調整をして下さい。

11mmより広がってますとガイドピン・連動ガイドピンが障子から外れてしまう恐れがあります。
11mmより狭くなりますと連動金物が床を傷つける恐れがあります。

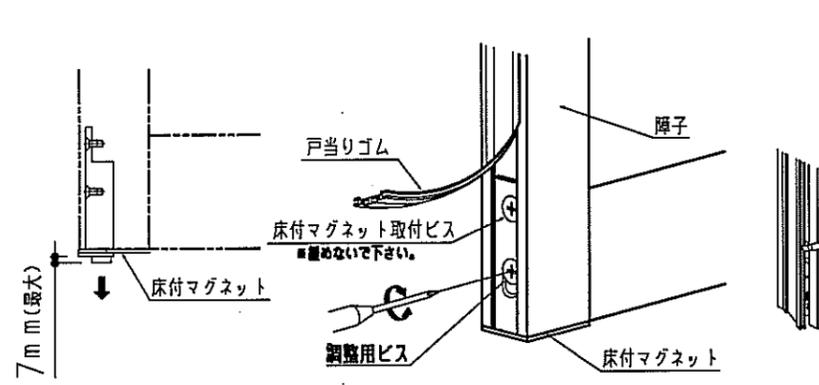
3 ガイドピンの調整

ガイドピンを止めているビスをゆるめ、ガイドピンを前後に動かして調整して下さい。



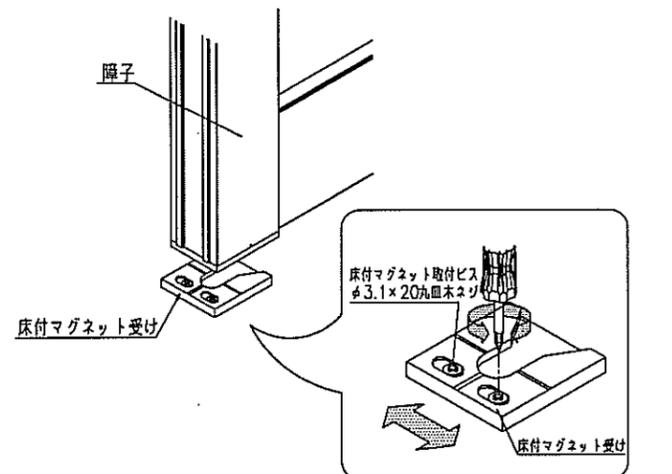
2 床付マグネットの調整

マグネットが落ちないようでしたら マグネットが落ちる位置までマグネットの出寸法を調整して下さい。
初期設定は0で設定していますので 下に7mmまで出す事が出来ます。
調整方法は上から2番目のビスを緩めて マグネットが落ちる位置で締め直して下さい。



4 床付マグネット受けの調整

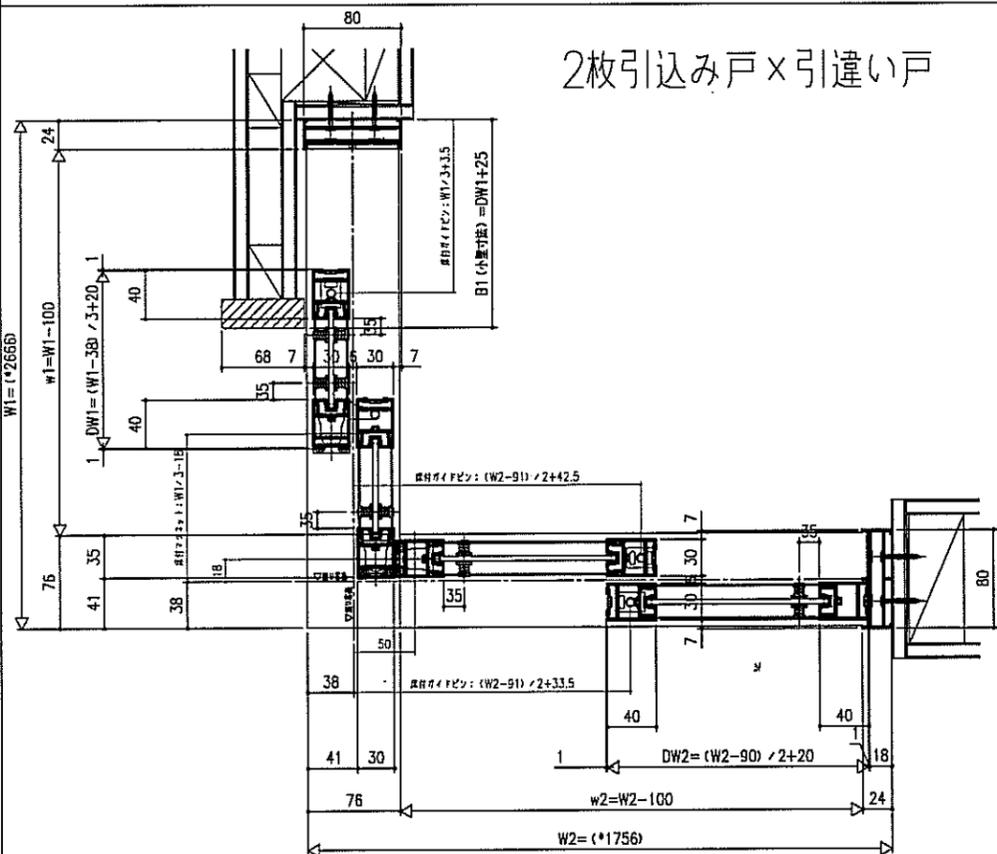
床付マグネット受けは前後に調整できます。
床付マグネット受けを止めているビスを緩めて前後の位置の調整をして下さい。
位置が決まりましたら、再度2本のビスを締めして下さい。



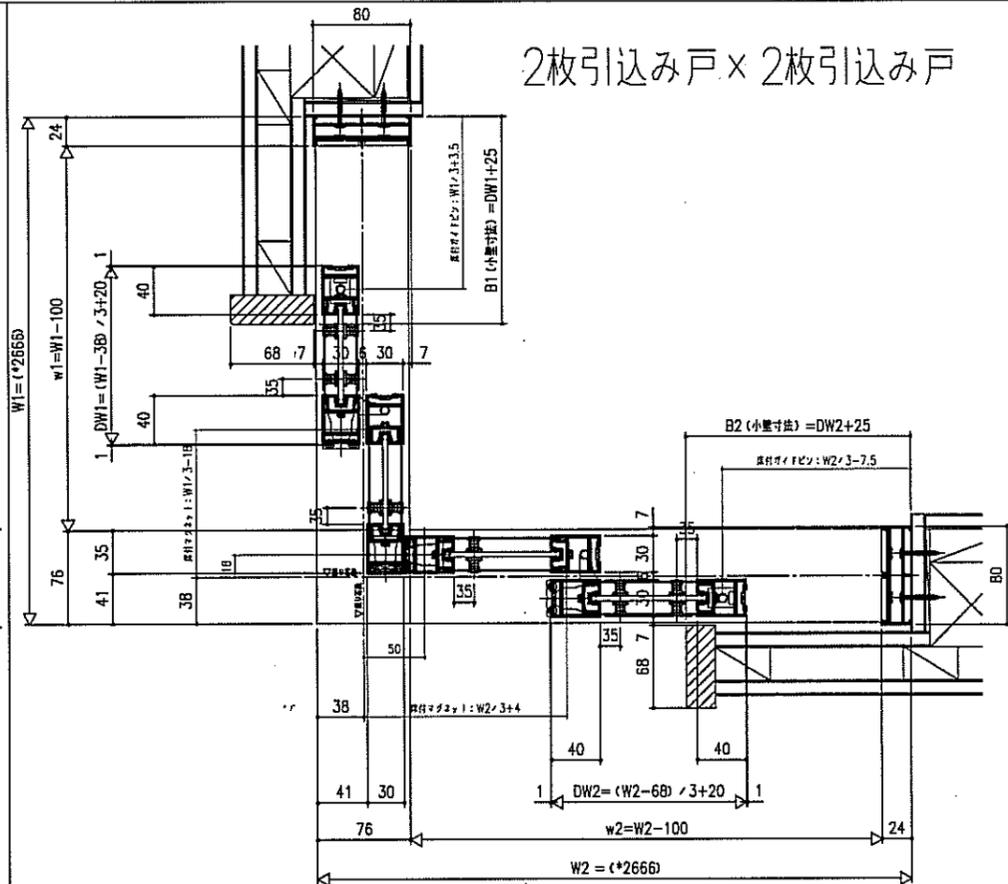
参考納まり図

(*) の寸法は規格品での寸法となります。

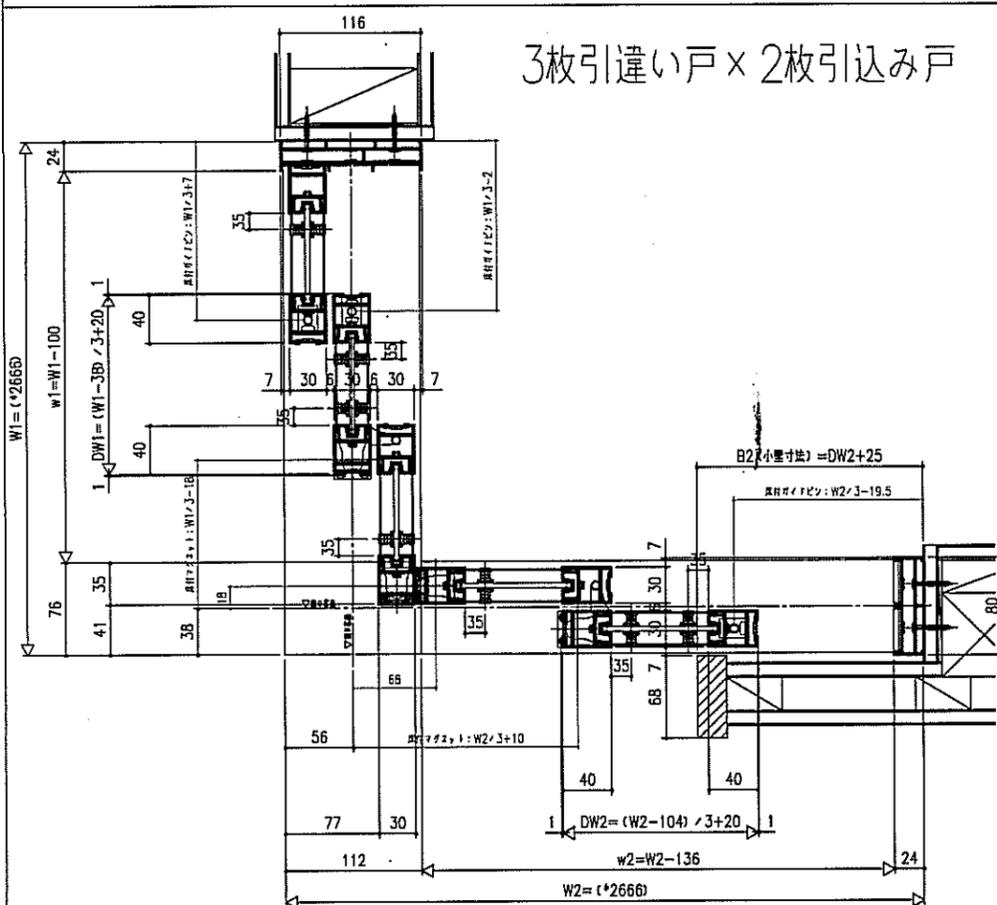
2枚引込み戸×引違い戸



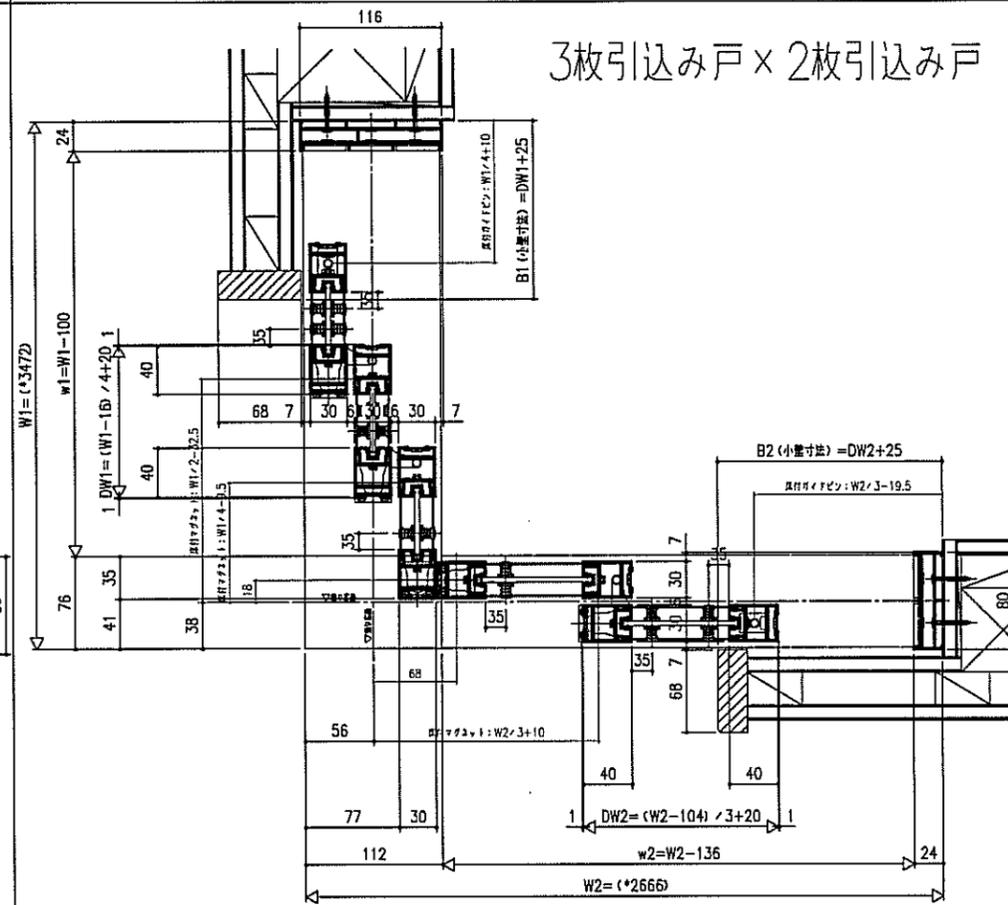
2枚引込み戸×2枚引込み戸



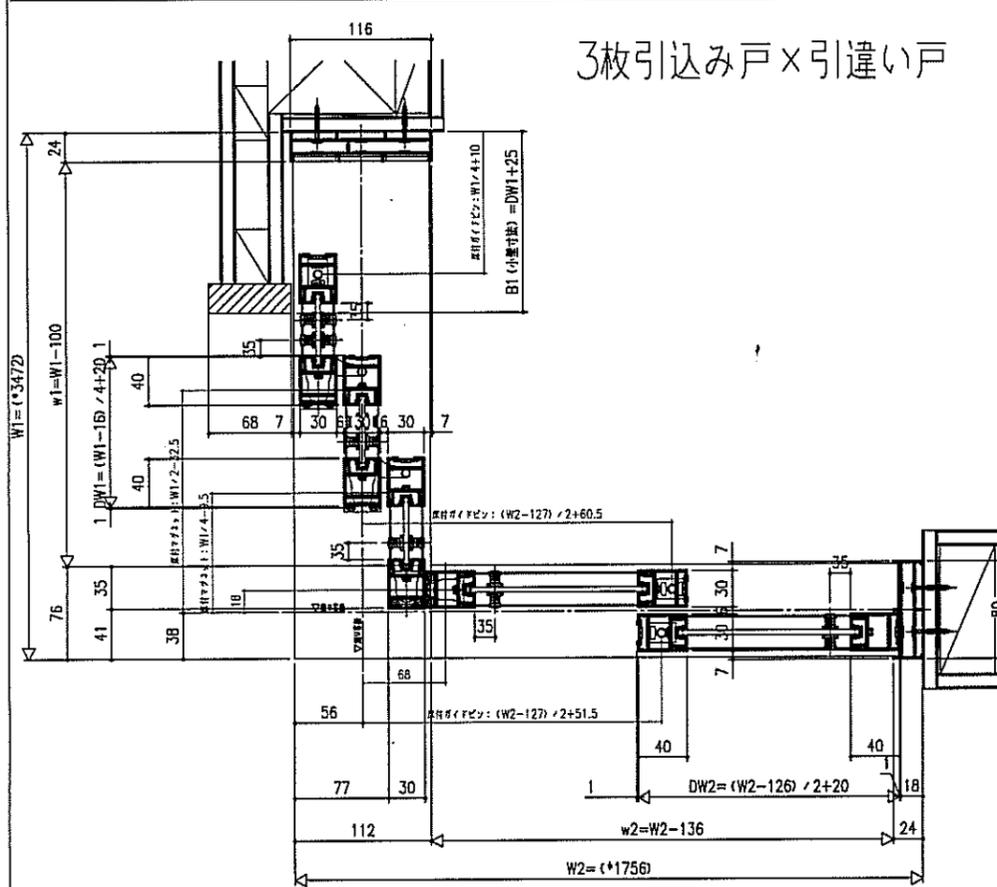
3枚引違い戸×2枚引込み戸



3枚引込み戸×2枚引込み戸



3枚引込み戸×引違い戸



3枚引違い戸×3枚引違い戸

